



北野の風

岡崎市立北野小学校 令和3年度 学校通信 No.3 【6月16日】

それでも「書く力」は大切だ 北野小学校長 丹羽 郁人



書く。
ひたすら書く。
机に向かう
その清潔なまなざし。
手を休める。
思いをめぐらす。
遠くを見つめる
そのやわらかなまなざし。
考えている。
苦しんでいる。
迷っている。もがいている。
でも、まちがいはなく
前に進もうとしている。

(某鉛筆会社の広告から)

筆記具を強く握りしめて書くために、右手中指の第一関節左部分の皮膚が隆起し硬くなる。これを「ペンだこ」と言う。
「書け。書け。とにかく書け。」と
中学校時代の恩師は繰り返し説いた。書くのはめんどうくさい。いやだなあと思いつつも、私は書いた。力一杯書いたから、「ペンだこ」は大きくはれあがった。鉛筆を握り締めて懸命に勉強した日は、ペンだこはひりひりするほど痛かった。その逆に、あまり充実していなかった日は、ペンだこは鳴りを潜めた。

いつしか、ペンだこは、私の勲章となった……。頑張った日は、いつもペンだこが褒めてくれた。

「書くこと」は実にめんどうくさい。しかし、「書くこと」で見えてくること、はつきりしてることが多いのも事実である。今まで経験してきたぼんやりしたことが、書くことで、明確な筋道となって自分の前に現れるときほど、胸が高鳴るときはない。

「書くこと」で、子供たちは自分自身や自分の周りを見つめ直すことができる。それは、明日を「生きる力」を獲得することができるということだ。

「書くこと」は、自分に問いかけることに他ならない。

便利なツールは世の中にたくさんあるが、自分と向き合い、過去を見つめる。こうした時間のかかる作業は子供から青年に変わるどの子にも必要だ。

北野小の子供たちが、これからもながく、書いては考え、考えては書きますようにと、強く願っている。

北野小の子供たちの「ペンだこ」は、いつも心地よい痛みとともにある。

それは、逞しく歩んでいく青年としての、——勲章となる。

六月後半の主な予定

- 十五日(火) あじさい読書週間(〜二十八日)
- 二十一日(月) 味噌仕込み体験(四年)
- 二十二日(火) プール開き(水泳部)
- 二十三日(水) 耳鼻科検診(二・五年、抽出児)
- 二十四日(木) 眼科検診(一・二・五年)
- 二十八日(月) 学習のまとめ週間(〜七月二日、五時間授業、一斉下校十四時四十五分)

七月の主な予定

- 一日(木) 眼科検診(三・四・六年、五六七組)
- 二日(金) すくすくタイム
- 五日(月) 委員会
- 六日(火) きらきら読み聞かせ(〜八日)
- 七日(水) 内科検診(二・六年、五六七組)
- 九日(金) 内科検診(一・五年)
- 十二日(月) 個別懇談会(〜十四日、四時間授業、一斉下校十三時三十五分)
- 十三日(火) 交通安全教室(一年)
- 十五日(木) 福祉実践教室(三年、〜十六日) 大掃除
- 十六日(金) 内科検診(三・四年)
- 十九日(月) クラブ、給食終了
- 二十日(火) 一学期終業式、守るんデー、一斉下校十一時四十分
- 二十一日(水) 夏休み(〜八月二十六日)
- 二十二日(木) 海の日
- 二十三日(金) スポーツの日(五輪開会式)



北野小ホームページには、「月の予定(下校時刻)」というメニューがあります。随時更新していますので、ご利用ください。

日	月	日	時間	内容
1	木	1	10:00-11:00	眼科検診(三・四・六年、五六七組)
2	金	2	14:00-15:00	すくすくタイム
5	月	5	14:00-15:00	委員会
6	火	6	10:00-11:00	きらきら読み聞かせ(〜八日)
7	水	7	10:00-11:00	内科検診(二・六年、五六七組)
9	金	9	10:00-11:00	内科検診(一・五年)
12	月	12	10:00-11:00	個別懇談会(〜十四日、四時間授業、一斉下校十三時三十五分)
13	火	13	10:00-11:00	交通安全教室(一年)
15	木	15	10:00-11:00	福祉実践教室(三年、〜十六日) 大掃除
16	金	16	10:00-11:00	内科検診(三・四年)
19	月	19	14:00-15:00	クラブ、給食終了
20	火	20	10:00-11:00	一学期終業式、守るんデー、一斉下校十一時四十分
21	水	21	10:00-11:00	夏休み(〜八月二十六日)
22	木	22	10:00-11:00	海の日
23	金	23	10:00-11:00	スポーツの日(五輪開会式)

